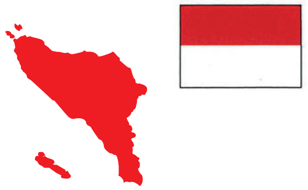
http://art-in.org/　http://communityart.cocolog-nifty.com/news/



# 3月24日（土）

**会場：あすと第一復興住宅**
**参加：無料**

どなたでもご参加頂けます

ごぜん11時〜ごご3時ぐらい

あすと長町　こどもたちがおもてなしする コミュニティアート食堂

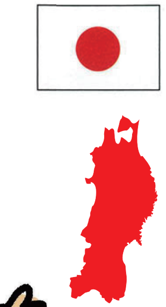
## こども食堂 × おしるこカフェ

東南アジアの辛くな〜い料理 骨つき肉煮込み**バクテー** VS みやぎの味 **おくずかけ**

バクテーは本来スペアリブですが
イスラム教のお客さまが来るので
鳥の骨つき肉で作ります

もちろんおしるこも！
下山さんが千葉で
おいしく小豆を
煮て来ます！

画：パルコキノシタ



## 東南アジア料理 バクテー vs みやぎの味 おくずかけ

先月の牡鹿半島は鮎川の伝統料理「クジラ汁」と日本海名物「タラ汁」の一本勝負、本当に甲乙つけがたく、美味しさに包まれていましたね〜。

震災の月でもある3月は、同じ大震災を経験したインドネシア・アチェから3人の客人がいらっしゃいます。

また、トヨタ財団とその助成先のＮＰＯや研究者のみなさま10数名が来場。「おしるこカフェ」を舞台に復興住宅のみなさまと、辛くない東南アジア料理「バクテー」や宮城の郷土料理「おくづかけ」づくりを行います。そこでの学び合いとそこから得られた共感は記録冊子としてまとめられる予定です。お楽しみに！

【短信】復興住宅からデビューして２年。TATSUKO 88 の不朽の名作「俺の人生」にインドネシア・アチェの８歳の少女チンタがいどんだアチェ語版「俺の人生」のミュージックビデオがこのほど完成しました（写真下）。そのうちご紹介いたしますのでお楽しみに！

好評連載エッセイ

3月は東北にとって、祈りの月でもありました。不思議です、あの時のことは、はっきり覚えているのにもかかわらず、まるで感覚は夢のようです。薄情ですが、生きるための本能かもしれません。ちなみに、いろいろな方から「震災に何も協力していない」「震災の時も遊んでた」という声を聞きますが、私はそんなこと、気に病まなくても良いと思います。大変な時に自粛して動かなくなる生き物なんて人間くらいです。鳥も獣も、大変な時こそ生きるために力強く翔けるはず。復興が何十年とかかるなら、一人一人が元気に明るく生きられるように保っていることが復興の大前提です。アイデアはそれから生まれるはず。ということで、これからの健康を祈って、元気におしるこ、いただきます！（笑）

# あすと長町 おしるこ通信

題字とくまもんのイラスト：まなみちゃん

この活動は、2012年1月から、いろいろな方が集い、出会える場所になればとの思いで、さまざまな人の輪により毎月一回、あすと長町エリアで開催しています。


【主催】あすと長町こども食堂・おしるこカフェ、あすと長町市営住宅ひまわり会、長町第３復興住宅自治管理組合、あすと長町コミュニティ構築を考える会、特定非営利活動法人コミュニティアート・ふなばし、一般社団法人ＭＭＩＸ Lab、一般社団法人アート・インクルージョン、一般社団法人まちとアート研究所
【共催】トヨタ財団、宮城教育大学村上タカシ研究室
【協力】ＮＰＯ法人地球対話ラボ


【お問合せ】門脇篤 080-4357-7035　info@kadowakiart.com



2018年３月
第78号